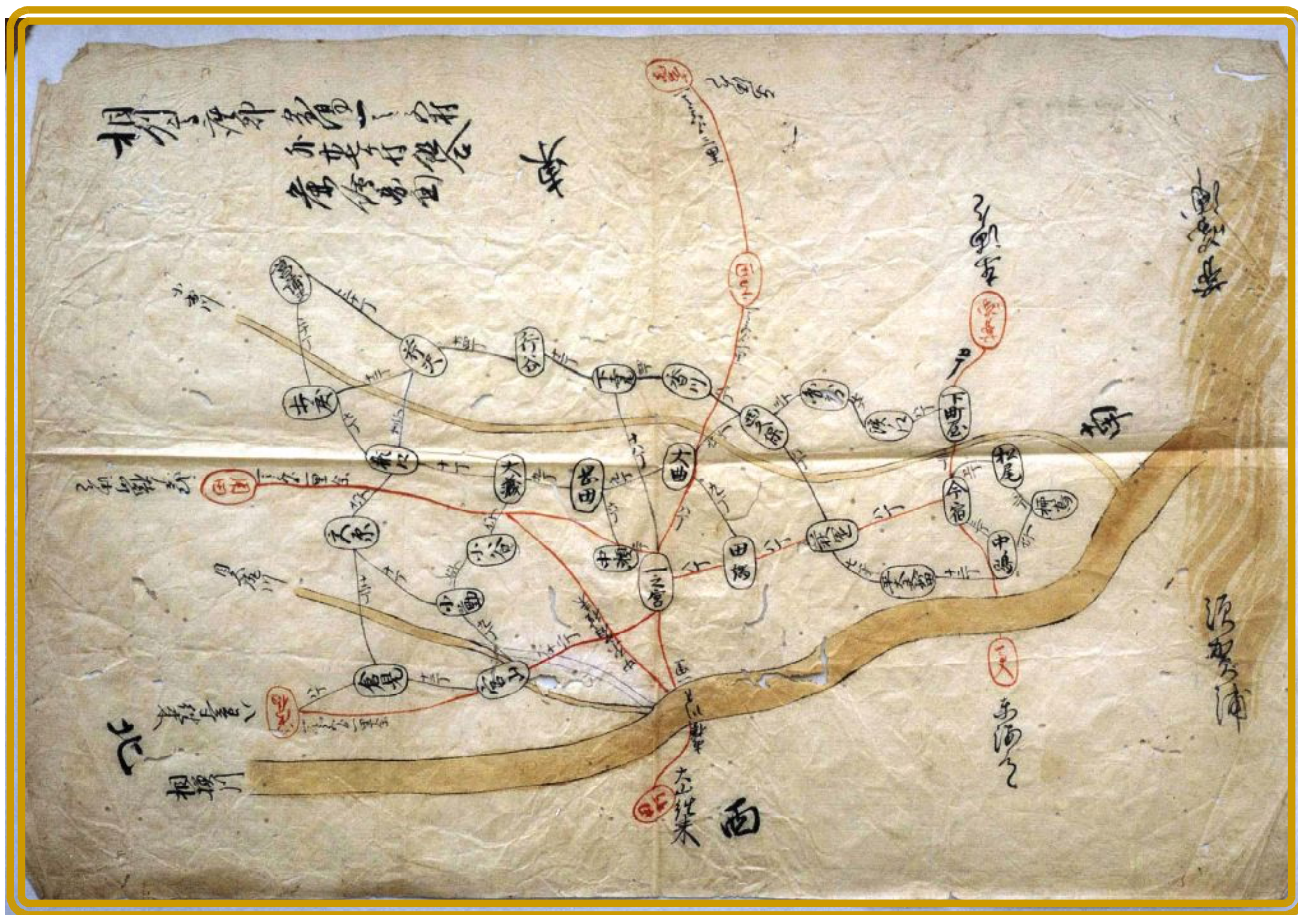


寒川文書館だより

Vol. 12



一之宮村外二十七ヶ村組合鹿絵図面（入沢章家文書）

■第12号目次

資料紹介（一之宮村外二十七ヶ村組合鹿絵図面）	2
映像資料の閲覧開始／寒川の先人たち	3
企画展「2市1町の絆」	4
検索システムをリニューアル	6
文書館 最近のできごと	7

第12号
2012.9.30
寒川文書館

<資料紹介>一之宮村外二十七ヶ組合麓絵図面

—— 一之宮村寄場組合の成立 ——

(入沢章さん所蔵)

表紙の絵図は、江戸時代後期、現寒川町域の11ヶ村や近隣の村々が、「寄場組合」とよばれる村連合のなかに、どのように組み込まれていたのかをあらわしたものです。

この「寄場組合」が設置された背景に、当時の関東農村における治安の悪化があります。江戸時代の関東は、幕府領・旗本領・大名領などさまざまな形態の所領が分散・錯綜していたため、統一的な警察権が行使できず、無宿・悪党の跋扈が大きな社会問題となっていました。

そのため幕府は文化2年(1805)、新たに関東取締出役(俗に八州廻り)という役職をおき、彼らに所領を超えた広域的警察権を付与することで、犯罪者の迅速な捕縛と治安の向上を図ります。しかしながら出役の人数は、関東全域を網羅するにはあまりにも少なく、その成果は限られたものにならざるを得ませんでした。そこで文政10年(1827)、出役の活動を支えるための在地組織として、小田原藩領など一部を除いた関東全域に設置されたのが、この「寄場組合」です。

寄場組合は、所領とは関係なく地域的に近接した数十ヶ村によって構成されましたが、そのなかでも村高が大きく安定した村、交通の要衝に位置する村が組合の中核(「寄場」もしくは「親村」とされ、会所(事務所)が置かれました。現寒川町域の村々は、当初は藤沢宿寄場組合に組み込まれていましたが、藤沢宿との距離が離れており不便だったため、次第に一之宮村を寄場として独自に活動するようになり、天保8年(1837)には正式に分離独立を表明し「一之宮村寄場組合」が成立しました。その際に、組合の運営方法について構成村全体で交わした取り決めが、つぎにあげた



「寄場年中規矩相定帳」(入沢章さん蔵)です。

一之宮村寄場組合は、現在の寒川町全域と茅ヶ崎市・藤沢市の一部を含む28ヶ村から構成され、さらに組合内は上組14ヶ村と下組13ヶ村とに二分されていました。寄場となった一之宮村は、石高としては宮山村に次ぐ高1,000石余の村ですが、中原道と大山道が交差する位置にあり、田村の渡しを経て相模川の対岸とも往来する交通の要衝でした。表紙の絵図には、一之宮村を中心に各村間の距離が記されており、組合内の村々がどのように繋がっていたのかがよくわかります。

もともと治安維持を主眼に設置された寄場組合ですが、次第に在地の社会風俗・経済統制などの比重が増していきました。それにともない組合村の業務も、酒造高や農間渡世など各種調査・報告、儉約励行、風俗取締りなど多様化しています。さらに幕末維新期、開国の余波によって政治的・経済的混乱が高まると、より一層の治安・警備活動が寄場組合に求められるようになりました。

このように関東全域で大きな役割を果たした寄場組合は、明治維新後も行政単位としてしばらく存続していましたが、明治4年(1872)に廃止され、大小区制に引き継がれました。(椿田有希子)

映像資料の閲覧開始

平成24年(2012)10月2日より総合図書館・文書館のコンピュータシステムの変更にとともない、文書館の端末で映像資料の閲覧ができるようになります。このたび閲覧可能になるのは、平成11～21年度にかけて制作された町の広報番組をはじめ約140タイトルです。

右にタイトルの一部をあげておきましたが、ほかにも町の行事や施設・学校の紹介など、さまざまな内容の番組が並んでいます。ぜひ一度ご覧になってみてください。

※閲覧のみ。貸出し、ダビングはできません。

タイトル	製作年
浜降祭	平成2年
大山街道を歩く	平成3年
さむかわ中央公園・総合体育館	平成11年
梶原景時没後八百年記念事業	平成12年
こすもすの郷～施設紹介～	平成13年
第13回 寒川納涼花火大会	平成15年
寒川神社 流鏝馬	平成17年
第16回 寒川納涼花火大会	平成18年
一之宮八幡大神 屋台巡行～	平成19年
行ってみよう！寒川文書館	平成20年
観桜駅伝	平成21年



映像の選択画面



映像の例（「浜降祭」）

シリーズ 寒川の先人たち

第11回：領民に慕われた殿様—田沼意次—

江戸時代の旗本・大名です。田沼家は紀州藩士でしたが、父の代に徳川吉宗に従って江戸城に入りました。意次が家督を継いだ時には知行地は現在の寒川町内に当たる岡田村246石、小動村290石を含む合計600石でしたが、異例の出世を遂げ宝暦12年(1762)には大名に、さらに側用人を経て老中に至り、所領は5万7千石に達しました。しかし天明6年(1786)に失脚し隠居、失意のうちに没しました。

この間、天明元年の加増の際に分散した領地を一か所にまとめるために岡田村や小動村の領地を

手放しました。実現しなかったものの、小動村は田沼領への復帰願いを出しており、意次が領民に慕われていた様子がうかがえます。（渡辺真治）



小動村の田沼領への復帰願（当館蔵 阿部家文書）

2市1町の絆—湘南広域都市行政協議会50年のあゆみ—



FUJISAWA CHIGASAKI SAMUKAWA

協議会のシンボルマーク

藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町は、共通の行政課題に取り組むため、昭和37年(1962)4月18日、湘南広域都市行政協議会を結成し、今年で50周年を迎えました。

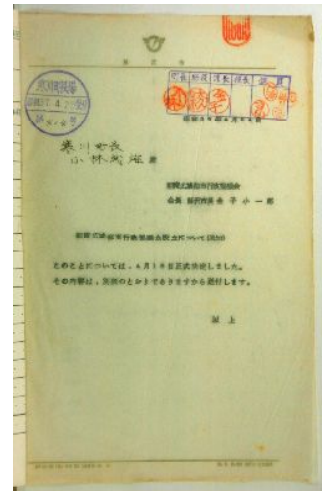
この展示では、協議会のあゆみと将来像について、おもに市民生活にどのような影響を与えたかという視点からご紹介しました。

協議会の発足

昭和37年(1962)4月、湘南広域都市行政協議会が発足しました。



開設協議のようす



発足に関する文書



養護老人ホーム湘風園開設

(昭和47年)

さまざまな成果

協議会では開設以来、私たちの生活に直結する課題に取り組み、成果をあげてきました。



文化交流事業

(昭和59年～)



新湘南バイパスの開通式

(昭和63年)

各部会の活動

協議会ではさまざまな行政課題に対して、部会を立ち上げて担当職員が集まり活動しています。

これからの協議会

協議会は、これからも地域住民の生活向上のため、さまざまな課題に取り組んでまいります。



湘南パスポートセンターが
開設されたビル



施設の広域利用
(藤沢市八ヶ岳野外体験教室)



広域ごみ処理
(寒川広域リサイクルセンター)

【展示期間】平成24年6月17日(日)
～9月9日(日)

パスポートセンターで ダイジェスト展示

7月2日にオープンしたパスポートセンターの壁面に、この企画展のダイジェスト版を作成して掲示しています。B1サイズのボード8枚に写真や説明書きを貼り付けたものです。窓口を訪れる利用者に、協議会のことを知っていただく手段として活用しています。



広報番組の取材

藤沢・茅ヶ崎両市で製作している広報番組でこの企画展を紹介していただきました。藤沢では8月11日～20日、茅ヶ崎では8月25日～31日、いずれもケーブルテレビで放映されました。



巡回展

この展示は終了後、藤沢市、茅ヶ崎市を巡回します。10月9日から11月30日まで藤沢市文書館で、1月(日程は未定)からは茅ヶ崎市立図書館で開催します。こちらにも足をお運びください。

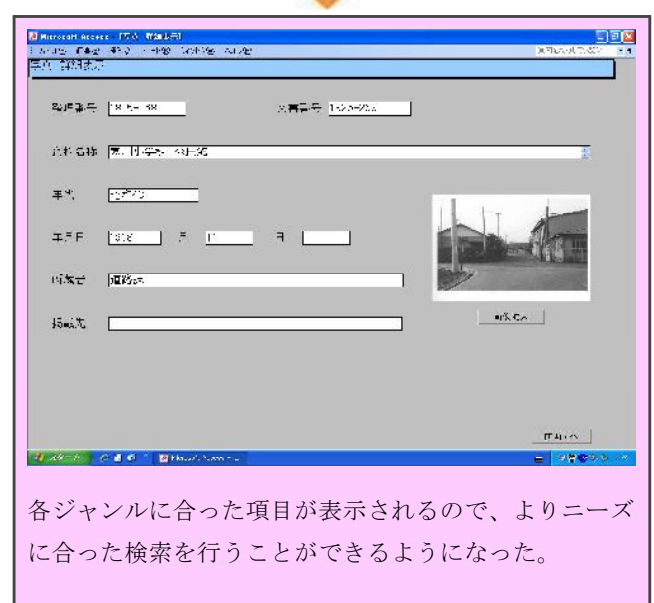
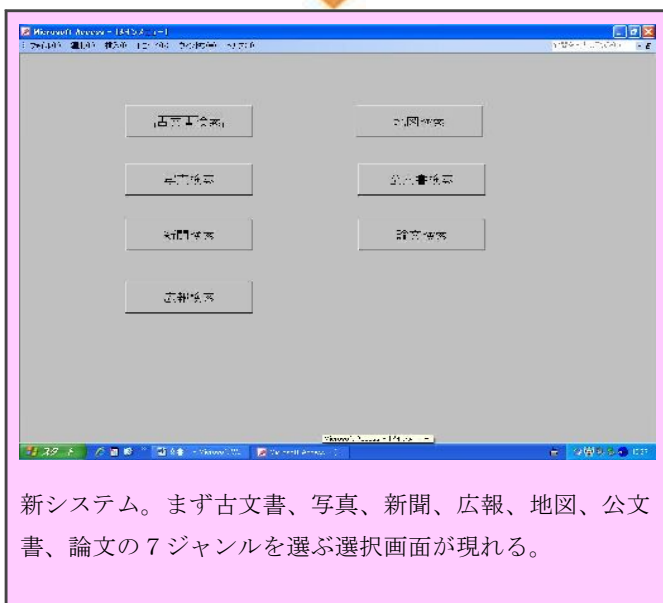
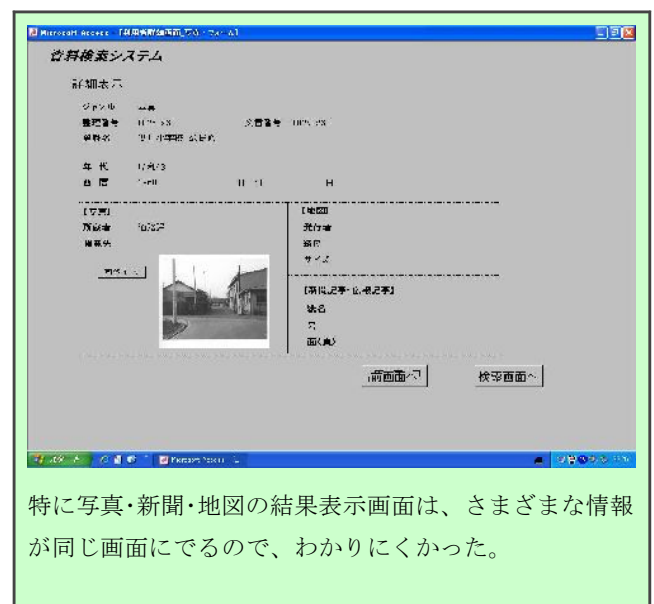
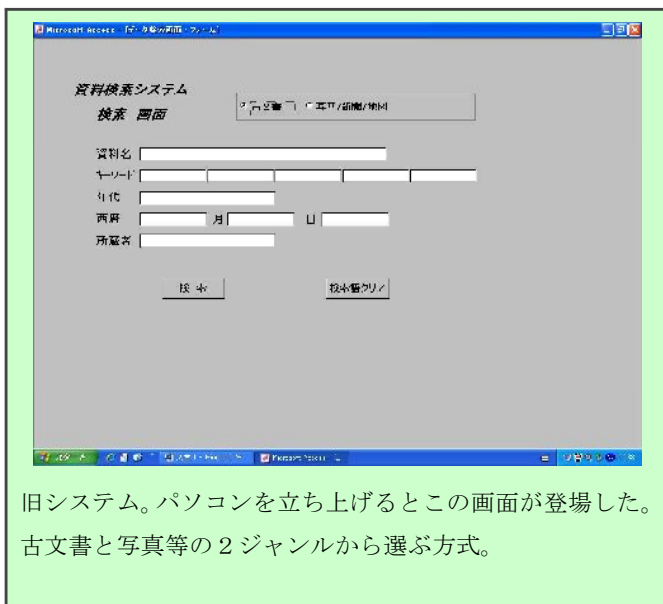
検索システムをリニューアル

平成24年4月から、閲覧者用端末の検索システムが新しくなりました。これは、平成23年度緊急雇用創出事業臨時特例基金事業の補助金を受けて実施した「資料画像情報整備事業」の成果です。この事業は、既存の検索システムを改良して使い勝手の良いものにした上で、マイクロフィルムの画像8万コマをデジタルデータ化して、システムに登録するという一連の作業を専門業者に委託したものです。

従来は古文書と写真等の2ジャンルから選び、キ

ーワードを入力して探すという方法をとっていましたが、結果表示画面にさまざまなデータ項目が錯綜して表示される点がわかりにくいという難点がありました。改訂版はジャンルに応じた適切な項目が表示されるので、探しやすくなりました。

今後も多くの方に使っていただくため、パソコンの前に利用方法を掲示するなど、PRに努めてまいります。まずは端末に触りに来てみてください。



文書館 最近のできごと

■町史講座「明治時代の寒川神社」 3月3日(土)



町史の執筆者が自らの担当箇所をわかりやすく解説する講演会です。今回は宗教担当編集委員で明治大学名誉教授の圭室文雄氏に「明治時代の寒川神社」というテーマでお話いただきました。明治時代を迎え、神仏分離を経て、寒川神社は大きく変貌を遂げました。神社所蔵の日記などの史料をもとに、祭礼のこと、氏子のこと、祈祷のことなど、具体的な紹介をしていただきました。

■茅ヶ崎歴史散歩の会講演「相模線沿線鳥瞰図を読む」 4月15日(日)



茅ヶ崎市民文化会館で開かれた茅ヶ崎歴史散歩の会の総会に、記念講演の講師として招かれました。テーマは「相模線沿線鳥瞰図を読む」。昨秋に行った相模線開業90周年の企画展のパネルをもとに、「鳥瞰図」の成立年代、作者、時代背景、記載内容などについて細かく解説しました。絵画資料に描かれた情報を隅々まで読み解く方法は、出席した皆さんに大いに興味をもっていただくことができました。

■古文書講座 5月26日(土)～ 全6回



今年も5月から10月まで全6回の講座を開講しています。今回は、入沢章家文書が寄託されるのを記念して、一之宮村の古文書を中心にテキストを選びました。年貢皆済目録、入沢家の江戸店経営、寄場組合関係など、多方面から江戸時代の一之宮村を理解していただけるよう構成しました。本物の古文書を見せながらの講義は大変興味をひいたようで、特に初めて古文書を見るという方は新鮮な驚きだったようです。

■ミニ展示「大正時代の寒川」 7月31日(火)～9月22日(土)



1912年7月30日、明治天皇が亡くなり、大正天皇が皇位を継いでからちょうど100年を迎えました。これを記念し、大正時代の15年間に、世界で、日本で、そして寒川でどのようなできごとがあったのかを紹介するパネル展を実施しました。寒川のできごととしては、皆川病院の開院、小学校統合問題、第1回国勢調査、相模鉄道開通、関東大震災、寒川農園の6つの話題を取りあげました。

今後の事業予定

■開催中の展示

平成24年9月23日(日)から平成25年2月28日(木)まで、文書館展示コーナーにおいて、企画展「江戸時代の一之宮村」を開催しています。領主支配、街道、商家、など、近世の一之宮村のようすを、さまざまな角度から紹介しています。ぜひご来場ください。

■藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町資料展

湘南広域都市行政協議会の事業として、「湘南に残る匠の技 宮大工の世界」を、茅ヶ崎市美術館において開催中です。愛川町半原を拠点に活躍した宮大工・矢内家の業績を中心に、2市1町の神社、寺院、神輿、屋台などの作品や、職人の使った道具など100点あまりを一同に紹介しています。

会期：平成24年9月8日(土)から11月4日(日)

■平成24年度の後半の事業

平成24年度の後半は次の事業を開催する予定です。日時、会場、申込み方法など、詳しいことは「広報さむかわ」、文書館のホームページ、チラシなどをご覧ください。

○中世史講座「郷土の史跡と吾妻鏡の世界」

(全4回。11～2月の第4土曜)

○上映会「一之宮の史跡と祭り」

11月3日(土・祝)、総合図書館との共催事業

○町史講座・資料保存活用講演会の詳細は未定です。

編集後記

「寒川文書館だより」第12号をお届けします。

本年6月から9月にかけて、企画展「2市1町の絆 湘南広域都市行政協議会50年のあゆみ」を開催しました。同協議会との共催で実施し、パネルの一部は7月に辻堂にオープンした湘南パスポートセンターにも飾られ、さらに10月からは藤沢市文書館、25年1月からは茅ヶ崎市立図書館にも巡回する予定です。他団体との共催も、館外へのパネルの巡回も初めての試みです。寒川の資料を藤沢や茅ヶ崎の皆さんにも見ていただけるのは、大変ありがたいことです。

今後も企画展や町史刊行物などを通じて、タイムリーな話題を提供し、寒川のみならず広い範囲の皆さんにも資料の大切さを知っていただけるようこころがけてまいります。

利用案内

■開館時間

火曜～金曜日 午前9時～午後7時
土・日・祝日 午前9時～午後5時

■休館日

月曜日(国民の祝日にあたる場合は開館)
年末年始(12月29日～1月3日)
特別整理日(決まり次第お知らせします)

■交通のご案内

JR相模線 寒川駅下車 徒歩10分
寒川町コミュニティバス 図書館文書館前下車 徒歩1分
※なるべく公共交通機関か自転車、徒歩でお越しください。



寒川文書館だより 第12号

平成24年9月30日

編集・発行／寒川文書館

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1

TEL 0467-75-3691 FAX 0467-75-3758

ホームページ <http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

電子メール bunshokan@town.samukawa.kanagawa.jp